

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	評価方法
一学期	4	オリエンテーション 鉛筆基礎「鉛筆トーン」	2	・美術の学習内容や心構え、評価について。美術史について、様々な表現があることを学ぶ。 ・鉛筆トーンで筆圧調整を学ぶ。 ・鉛筆の画材としての表現の幅を知る。	【作品】 【活動の様子】 【振り返り】
		鉛筆デッサン 「身近なものを描く」	8	・身近なものを見つめなおし、良さや美しさに気づき、感じとったことや考えたことを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現する。 ・形や明暗、質感、立体感など、全体のイメージを捉え、鉛筆の特性を生かして基本的な描写力を身に付ける。 ・相互の作品鑑賞。自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。他者の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。	【作品】 【アイデアスケッチ】 【活動の様子】 【振り返り】 【ワークシート】
	5				
	6	絵画 「植物を描く」	14	・植物を観察して、美しさや生命力を感じ取り、表したいテーマを決めて、自分の感じた花や木の魅力を表現する。 ・相互の作品鑑賞。自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。他者の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。	【作品】 【アイデアスケッチ】 【活動の様子】 【振り返り】 【ワークシート】
	7				
二学期	9	彫刻 「紙で作る立体作品」	6	・立体で表すことの良さや特性を理解し、彫刻の魅力と広がりについて理解し、表現につなげる。	【作品】 【アイデアスケッチ】 【活動の様子】 【振り返り】
	10	彫刻 「抽象彫刻で表す」	16	・自然物や人工物、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的な良さや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりするとともに、重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻に表す。 ・相互の作品鑑賞。自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。他者の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。	【作品】 【アイデアスケッチ】 【活動の様子】 【振り返り】 【ワークシート】
	11				
	12	デザイン ポスターで伝える 「作家調査」	4	・伝えたい内容をイラストや写真と文字などをどのようにして組み合わせるかを考える。 ・クロームブックを使用し、デジタルの表現を学ぶ。	【作品】 【活動の様子】 【振り返り】
三学期	1	自由制作 「コラージュ」	20	・素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表す。 ・自ら主題を生成し、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのかを考えるとともに、1年の制作のまとめをする。	【作品】 【アイデアスケッチ】 【活動の様子】 【振り返り】 【ワークシート】
	2				